

1-6 先祖の植物は、どんな実を付けたの

- ①実を包む莢は無く、むき出しの小さな実が数珠つなぎに2~4個着いていた
- ②莢があり、莢の中には1個の小さな実が着いていた
- ③莢があり、莢の中には2個以上の小さな実が着いていた

野生種は、栽培種と異なり莢の厚さは薄くその中には1粒の実しか入っていません。その莢が数珠つなぎに複数地下深くまでもぐって実を着けます。正解は②に①の数珠つなぎが合わさったものです。

正解 ②+①の一部



図 野生種 *Arachis pintoi* 'S1' の子房柄と莢

上段:子房柄長は付け根から莢下端まで34.5cmで、4~8cm程度の栽培種に比べてとても長い

中段:     〃     付け根から第1莢下端まで18cm、第1莢と第2莢まで2.8cm

下段:     〃                     〃                     15cm、     〃                     2.2cm

第1莢(泥で黒ずんでいる)と第2莢(泥少なく比較的白い)の間の子房柄は、栽培種のくびれに相当すると思われる。

また、第1莢の子実は栽培種では基豆(先に成熟)、第2莢の子実は先豆(後で成熟)に相当すると思われる。